

質 問

新エネルギー対策は

若月忠男 議員

町長 木材の集積場とチップ生産ライン建設の事業化を検討します



問 森林バイオマス燃料化・公共施設へのチップ・ボイラー導入・学校への太陽光発電設備導入・普及啓発推進が実施されておりその計画に対する実状況は。

答 昨年度は、佐白地区交流拠点施設と玉峰山荘に木質ボイラーを整備し、今年度から営業運転を始めています。また、昨年6月から亀高小学校の太陽光発電施設が稼働しており、当初は30%程度の節電効果を見込んでおりましたが、天候等が影響して約20%の節電効果が

見込まれます。今後の公共施設等への導入や、新エネルギーの普及啓発を進めてまいります。

今年度から森林組合あるいは森林所有者、建設業者、住民代表、NPOからなる森林総合活用協議会を立ち上げて、チップ等エネルギー用の木材原料の生産システムの構築や、トマトや椎茸栽培などの農業用ハウスへのチップボイラー導入など、農業との組み合わせによる木質バイオマスの有効活用を目指して、町内における木材の集積場とチップ生産ラインの建設について、事業化を検討したいと考えています。

問 現在公共施設等へLED照明の導入が進んでいますが消費電力の多い亀高温泉・奥出雲病院等への考えは。

答 平成22年度から随時公共施設へ設置し平成23年度は亀高温泉、サイクリングターミナル等に設置し、先般は町立体育館と中央公民館の設置工事を

を発注しました。奥出雲病院につきましては、入院患者さんに対して光源等、目に優しい施設となるよう他の病院の取り組み等も参考にしながら検討して参りたいと考えています。

問 木質バイオマスに、水力発電事業を加えた更なる導入設置検討の考えは。

答 本町も豊富な水資源に恵まれており、環境負荷が極めて小さいマイクロ水力発電は、本町の地域活性化に繋がるものと考えています。今年度から県が市町村とともに導入適地調査を開始しますので、この事業にも参画し事業の採算性等を検討する予定にしております。いずれに致しまして、地域で出来るだけエネルギー等も自給できる循環型社会の実現を目指して、あらゆる可能性について調査し、取り組んでいく考えです。

問 ポート競技人口の育成支援について。

答 尾原ダム湖にすばらしいポート施設を整備して頂きましたので、つきましては専門学校、リハビリ学院もあります。さらに役場をはじめ企業等もあり、積極的なチーム編成等をしていただき、ポートによる地域づくりの手伝いが出来るような取り組みを是非して参りたいと考えています。

問 特産振興について。

答 特産振興を図る上では町独自の助成制度の創設も重要な今後の課題であると考えていますが、現時点では国や県が行う助成制度の活用、その利用状況等も見ながら、町で更にとつという支援が必要か、私も実際に皆様から直接にお話を聞きながら支援制度についても前向きに検討してまいります。実際営農されている皆さん方のご意見等も十分に聞きながら皆さんの声を国とか県にも届けて行く努力もしてまいります。